

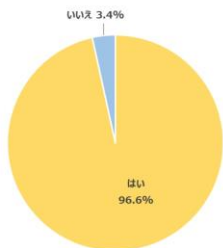


9割超が「選考につながるインターンシップに参加したい」と回答。「3年生のうちに内定を得たい」の声（学情）

引用元
LINK

Pick Up-1

選考につながるインターンシップがあれば、参加したいですか？



学情は、2026年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、インターネットアンケートを実施。選考につながるインターンシップに、「参加したい」と回答した学生が96.6%に上りました。

「3年生のうちに就職活動を終え、4年生は卒論や社会人になるための準備に時間を使いたい」「希望する業界・企業の選考が早いので、3年生のうちに就職活動を終えるイメージをしている」といった声が寄せられました。

インターンシップの「就業体験」という本来の目的から、ますます内定獲得の手段となっていくそうですね。

※出典：株式会社学情「就職活動準備」調査

AIが採用候補者をスクリーニング 新卒採用向け新サービス「AI面接官」を提供開始（VARIETAS）

引用元
LINK

Pick Up-2

二次選考までを97%効率化 AI面接官 提供開始



※出典：VARIETAS「AI面接官」

VARIETASは、生成AIが新卒採用における書類選考から1次面接までのプロセスを代替し、各社の基準を満たした採用候補者に絞って選考できるサービス「AI面接官」の提供を開始。

ESの内容と候補者の応答をもとに、生成AIが質問をカスタマイズして展開。採用面接時に人事が一般的に評価する30項目を網羅的に評価できるとのこと。

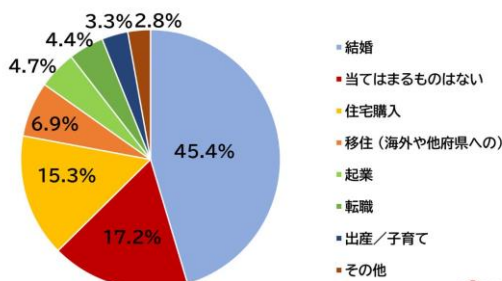
企業側としては、自社にマッチした能力のある前提で二次選考以降での人物評価ができる点はメリットですが、学生はより個性を消してしまう懸念がありますね。

2024年度の新入社員に「最も興味のあるライフイベント」を調査（ジェイック）

引用元
LINK

Pick Up-3

Q. 現時点で最も興味のあるライフイベント



企業向けの教育研修事業と若年層向けの就職支援事業を展開する株式会社ジェイックは、当社が提供する新入社員研修の受講者に対して行った「最も興味のあるライフイベント」についてのアンケートの結果を発表（回答者888名、調査日2024年3月29日- 4月9日）。

今年度新入社員の4割以上が、『結婚』を肯定的に考えていることがわかりました。Z世代の結婚願望の低さが話題に挙がりますが、この世代は、世界的な大不況、震災、コロナなどを経験した影響もあり、身近なつながりを重要視する人も多い印象を受けます。

一方で、「当てはまるものはない」が2位であり、回答者がどのような未来を描いているのか気になるところです。

※出典：株式会社ジェイック 新入社員研修「ライフイベント」についてのアンケート